



# いづみ

No.37

街なかの美を守ろう

(題字 國松 明日香)

自作自選 7



《北風の中で》

伊藤 寿朗

## 自作自選 7 作者の言葉

「北風の中で」は札幌市立平和小学校の玄関ホールに設置されています。1987年、開校5周年を記念して当時の校長先生から依頼され、札幌市を通して寄贈しました。

本田明二先生から木彫の手ほどきを受けた私が山内壮夫先生の構築性と本郷新先生の劇的な面を融合させようと試みた木彫作品です。全道展と国画会展に出品しました。春への期待と厳しい暮らしに立ち向かう北国の人々のたくましさやをコートやブーツに込めて表現しました。(伊藤寿朗)

タイトル	「北風の中で」
設置場所	札幌市立平和小学校
制作年	1983年
素材	桂
高さ	180センチ

## 宮の森の四季 7

### 本郷新記念札幌彫刻美術館

#### 本郷重子さんのこと

業務係 大場 裕子

私は1981年6月の美術館開館に先駆けて、何度かお手伝いで宮の森のアトリエ(現記念館)に通っていたこともあり、その年の3月からの勤務となりました。

当館は、本年開館30周年、昨年は市民ギャラリーに異動となったものの、再び勤務することとなり、私の人生の大半は彫刻美術館で過ごしたことになります。

中でも今は亡き本郷新の夫人、重子さんのことは印象深い思い出となっています。

その頃はまだ本郷新の作品、愛蔵図書、生活用品などが整理中であり、ご一家にもお会いすることがありました。重子さんは美しい言葉と、まるで貴婦人のような物腰で私たち女性職員の憧れの的となりました。

本郷新作品のモデルとしても登場し、ポーズをとる作品がいくつかあります。油彩の「新聞を読む重子夫人」は金色の髪をポンパドールに結いあげた洋装が夫人そのもので、在りし日のモダンな姿が偲ばれます。この作品は他界された際の遺影となりました。また、本郷新が手作りで夫人に贈ったペンダントがあります。夫人の横顔をモチーフとしたカメオを思わせるつくりで、どれほどの宝石よりも輝かしく重子さんの胸元を飾っていたことでしょうか。

ペンダントは記念館でご覧いただけます。是非この機会にご来館くださいますようご案内申し上げます。

## 居心地のいい彫刻のある空間へ

笠 康三郎（(有) 緑花計画代表取締役）

友の会の30年にわたる活動に対し心より敬意を表すると共に、その節目となる会報に文章を載せる機会を与えていただいたことは、私にとっても運命的なものを感じています。

1980年の春、緑づくりの現場により近い仕事をしたいと、小さな植木屋に入ったばかりの私が訪れたのが、宮の森にある本郷さんのアトリエでした。建築家の上遠野徹氏の設計で、私の親方（故岸村茂雄氏）が、上遠野さんの庭をよく造っていた関係でこのアトリエの庭造りもお手伝いし、ようやく地下足袋姿にも慣れた私が、庭の手入れに加わっていたのでした。

この年の初めに本郷さんは亡くなられたばかりでしたが、管理に入った時にはちょうど奥様がアトリエにいらしており、休憩時間にお茶を入れながら、いろいろな話をお聞かせいただいたことが懐かしく思い出されます。

この庭は、シラカンバの明るい樹形を主体にした開放的な空間で、どっしりとした御影石となだらかに起伏のある芝生の中に、自らが置き場所を決めたという彫刻がなんともうまく収まっています。どの角度から見ても、彫刻とその前後に交差するシラカンバの幹が、信じられないくらい奥行きを見せてくれるのです。これが私の彫刻との最初の出会

いであり、彫刻と空間との関係を考える原点になったのは大変幸せなことでした。

仕事柄、各地の公園や緑地を見て歩くことが多く、たくさんの彫刻との出会いがありましたが、置かれている空間と彫刻がぴたりと呼応していることは、むしろ稀と言っていいでしょう。最近でこそ、作家がその設置する環境について意見を出すことができるようになってきましたが、一昔前まではそんな意見など見向きもされなかったのではないかと思えるのです。

せっかくの彫刻が、なんとも寂しげにたたずんでいるのを見るのは、やはり悲しいものです。かつて中島公園の中央広場で、噴水に取り囲まれて白く輝いていた「森の歌」も、ブロンズ像に鑄造されて児童会館前の広場にぼつんと立っています。せめてこの周りに植え込みや花壇を造り、湧き上がる命の躍動を温かく包み込むことはできないだろうか、などと考えてしまうのです。

彫刻には、それ自体が持つ芸術的な価値を訴えるだけでなく、その周りの空間との調和を図ることにより、周辺を魅力的な空間に変える力を持っています。これからは、彫刻自体の居心地がよくなるような環境とは？ そんな視点でお手伝いをしていけたらと考えています。

# 友の会に「第3回さっぽろ環境賞特別賞」

## 街並み保全に大きく貢献

### 友の会 30周年に思わぬプレゼント

札幌市が環境保全に取り組む個人や企業、団体を表彰する「第3回さっぽろ環境賞」で札幌彫刻美術館友の会が「環境保全・創造部門」の特別賞を受賞した。日ごろの野外彫刻清掃活動など長年にわたった努力が認められた。会創設30周年の嬉しい贈り物になった。

受賞式は7月29日、札幌・アクセスサッポロ(厚別区)の札幌・環境広場さっぽろ 2011 屋内会場特設ステージで行なわれ、札幌市の生島典明副市長から橋本信夫友の会会長に賞状が手渡された。

受賞理由は友の会が日ごろ提唱している「街なかの美を守ろう」運動を通して野外彫刻を守り、芸術作品としての本来の魅力を再生し、維持する取り組みを続けてきたこと、清掃方法の研修や保全技術の普及活動、また、彫刻のデータベース化への先進的な取り組みなどが評価された。

環境賞には今年度 27 件の応募があり、そのうち友の会を含め、7 団体が受賞した。受賞式には友の会会員も参加、受賞を喜び合った。



## さっぽろ環境賞特別賞を受賞して

友の会会長 橋本 信夫

ことは私たちの札幌彫刻美術館友の会が札幌彫刻美術館を支援する市民団体として発足してちょうど30年の節目の年に当たります。この記念すべき年に思いがけず「第3回さっぽろ環境賞特別賞」を受賞する栄誉に恵まれ、全会員と共にこの喜びを分かち合いたいと思います。

受賞は北海道地域ネットワーク協議会の辰巳治之会長のご推薦はもとより、友の会設立以来、営々として積み重ねてきた多くの会員各位の地道な活動の賜物と、心から感謝と敬意を表する次第です。

おかげさまで会の活動も野外彫刻の調査、資料整理、彫刻作品の解説やガイドの充実のほか、彫刻清掃活動ぶりがようやく社会的に認められ、「街なかの美を守ろう」や「市民文化は市民の手で」といった会の理念が市民文化運動としても受け入れられつつあります。

私たちは今回の受賞を大きな励みとして会員一同手を携え、彫刻芸術の振興と会の発展にさらに一層の努力を重ねようではありませんか。



## 「おめでとうメール」 続々

友の会の「第3回さっぽろ環境賞特別賞」受賞にあたり、会長の元にたくさんの方々から祝福のメールが寄せられました。

▲受賞おめでとうございます。本当に皆様、頑張っていましたからね。私も感銘して居りました。(鈴木吾郎)

▲受賞、おめでとうございます。新聞報道などでいつも皆様の活動に触れて感謝、感動しています。これからもご隆盛でありますように。

(横山憲治)

▲環境賞特別賞の受賞、とても嬉しいです。彫像を洗うなどということは誰も気づかない、全く地味な活動です。高い彫刻の清掃にプロの協力者を得られたことなど、橋本会長の力と人柄のおかげと深く感謝しています。

(濱 久子)

▲環境賞受賞おめでとうございます。皆さんの長年の苦勞が実ったんですね。

(永喜多宗雄)

▲特別賞受賞おめでとうございます。友の会創立30周年の記念に素晴らしい賞を受賞されたのは橋本会長をはじめ会員皆様の長年のたゆまざるご努力の結果とお祝い申し上げます。

(武藤 順)

▲受賞おめでとうございます。活動の励みになりますね。橋本先生、ますますのご活躍期待しております。

(昆野照美)

▲おめでとうございます。岩内は彫刻よりも石碑が多く点在しており、文豪夏目漱石在籍地の石碑など意外なものもありますが、ほとんど野ざらし状態です。街なかの美を守るには石碑を清掃すべきではと思っております。機会がありましたらよろしくご指導ください。

(渡部桂一・岩内)

▲おめでとうございます。お元気で活躍のお知らせありがとうございます。

(坂巻正美)

▲本当におめでとうございます。おめでとうございます。おめでとうござ

います。おめでとうございます。おめでとうございます。おめでとうございませ……

(高橋 宏)

▲札幌市のHP拝見させて頂きました。特別賞受賞おめでとうございませ。これからの益々のご活躍をお祈りいたします。

(松館高雄)

▲嬉しいお知らせありがとうございます。皆さんの努力が認められて私もとても嬉しいです。これを機に、札幌市の文化芸術を発展させる市民活動がさらに発展することを祈ります。

(木村 純)

▼さっぽろ環境賞特別賞の受賞おめでとうございます。友の会の長年の活動の成果とは言うものの、特に近年の橋本先生を中心とした精力的な取り組みの結果だと推察いたします。一層のご活躍を。

(羽賀 隆)

▲友の会設立30周年の節目に大きな受賞となり、これまで先生と歩みを共にして来られた創成期からの会員の皆様にとってどんなにか感慨深いものかと拝察いたします。

(常田益代)

▲受賞おめでとうございます。橋本さんはじめ、関係会員の皆さんの長年のご努力の賜物と思います。「続ければ誰かが見てくれる」—地道な橋本さんのご努力の結果だと思います。橋本さんでしか出来ないことです。出来そうで出来ない。実体験した人にしかわからない受賞は味わいがあることと思います。まずはおめでとうございませ。(早川敏之)

(早川敏之)

▲さっぽろ環境賞の受賞、おめでとうございませ。友の会の皆様の地道で活発な活動に敬意を表します。

(黒川弘毅)

▲おめでとうございます。日々の積み重ねですね。

(柴田 尚)

▲環境賞受賞おめでとうございませ。日ごろの努力の成果ですね。

(リサ・クサカベ)

▲橋本先生の行動力に感動し、それが直接の目的でないとしても、意志のあるところに人びとの理解があるということを痛感します。(葛目義隆)

▲第3回さっぽろ環境賞特別賞の栄に浴され、誠におめでとうございませ。これもひとえに、長年の活発なご活躍が広く認められたものと存じます。今後のより一層のご活躍をお祈りいたします。(宇部市長・久保田后子)

▲受賞おめでとうございませ。橋本先生のリードでの地道な努力が認められましたね。(脇 彌生・宇部市)

▲特別賞受賞おめでとうございませ。彫刻ファンクラブの協会長から伺い、大変喜んでおります。長年の地道な活動が認められたものと思います。UBE ビエンナーレでお会いできることを楽しみにしています。

(能美朗・宇部市公園整備局)

▲30周年の記念すべき節目に環境賞特別賞の受賞、おめでとうございませ。市民文化は市民の手で、街なかの美を守ろうと地味な活動が認められたお慶びを申し上げます。

(桑原昭子)

▲受賞おめでとうございませ。皆さんの活動の一助になれて幸いです。皆さんの情熱の賜物です。一つの手段、道具で新たな展開が広がって行くことは嬉しいことですね。(太田克美)

▲早速にご連絡いただきありがとうございます。先生の日ごろの献身的な活動とご指導の賜物ですね。

(阪崎健治朗)

▲さっぽろ環境賞特別賞の受賞おめでとうございませ。

(古田重雄・OSS)

## 道庁赤れんが庁舎前庭

### 「北の母子像」洗う

#### スタッフジャンパーも初出動

札幌観光の名所、道庁赤れんが庁舎前にある「北の母子像」(本郷新)、「平和のモニュメント」(堀木純平)2体の彫刻清掃が7月7日、友の会の手で行われた。



庁舎前庭にある彫刻の汚れがかなり目立つことから友の会から道庁側に清掃を持ちかけて実現したもので、両彫刻とも道庁には清掃の記録がなく、鳥の糞や風雪で汚れっぱなしの状態。中には本体と台座の間に大きな亀裂が出来ているものも見つかった。清掃の許可を得るために彫刻の管理セクションを探し回ることからスタートするなど苦労も多かった。

この日は十数人の会員が参

加して汚れをブラシで落としたあと、ワックスを塗るなどして手入れをした。

また、この日は友の会がこの夏、新調したばかりの会のシンボルマーク入りスタッフジャンパーを着ての初作業。通りがかりの人たちもそろいのジャンパー姿で掃除をする会員たちに目をとめるなどPR効果もあったよう。

一方、9月2日に予定されていた道立近代美術館での彫刻清掃作業は雨のため中止となった。

### 彫刻清掃へ強力助っ人

#### 高圧洗浄機の寄贈受ける

野外彫刻清掃作業で高い場所への水洗などに不便していることを聞いた友の会のメセナ会員から高圧洗浄機の寄贈申し出があり、真新しい洗浄機が会へ届けられた。

洗浄機はドイツ・ケルヒャー社製で、やや高級な家庭用。橋本会長によると、筒先を近付け、高圧ビームを当てるとかなりの圧力で、道路の溝の雑草などを一気にのぞけ、広角用や噴霧用の部品もあるため使い勝手が良いという。今秋の清掃作業には威力を発揮しそうだ。

## 解説部会メンバー大活躍

### 大通公園で彫刻解説

#### 連合町内会からの依頼

札幌・桑園地区連合町内会から大通公園の彫刻解説の依頼があり、9月7日、解説部会のメンバーが2時間にわたって公園内の彫刻を丁寧に解説して喜ばれた。

30人の参加者を5グループに分けてそれぞれに友の会の解説者がつき、札幌市資料館前(西13丁目)からテレビ塔(西1丁目)までの彫刻のガイドを行った。

参加者の一人、原田憲子さんは「大通公園の彫刻見学会が友の会の協力で実現でき、嬉しく思います。制作者の苦心のエピソードの紹介もあり、秋空の下、さわやかな解説に聞き



入り、大変、満足しました」と感想を寄せてくれた。

ちょうど安田侃の野外彫刻展が始まったばかりで、解説メンバーにも勉強になった一日だったという。

## 中島、大通公園で

## 彫刻クイズラリー

## 夏休みの小中学生対象

夏休み中の子供たちに彫刻鑑賞の楽しさを知ってもらおうと友の会の解説部会のメンバーなどが中心となって7月30日と8月6日の2回にわたって「夏休み彫刻クイズラリー」が行なわれた。



メンバーが頭をひねって考え出した両公園にある彫刻にまつわるクイズを、実物をめぐりながら解くことで彫刻に対する興味を深めてもらうのが目的。

7月30日は中島公園を会場に催された。事前に地域の小中学校に協力を呼びかけた成果もあって家族連れを含め70人が参加してにぎわった。

クイズは同公園にある山内壮夫の「森の歌」「笛を吹く少女」などの作品に関連して「この作品に大人と子供が何人いるでしょう」「少女の髪はストレートかショートカットか」といった問題の載ったリーフレットを片手に子供たちが彫刻を探し当

てながら答えを考えるとというもの。

大通公園では8月6日に行なわれ、同公園の「花の母子像」「ブラック・スライド・マントラ」など子供たちに人気の彫刻にまつわる問題が出された。

メンバーの一人、長峯慰子さんは「初めての試みでしたが、中学生や会員以外のボランティアの協力もあり、一応の成果を見ることができました」と次回への意欲を燃やしていた。

## 友の会視聴覚教材第8作

## 「陶芸作家・下澤敏也の世界」

## 抽象彫刻の魅力を紹介

友の会が札幌市視聴覚センターの委託を受けて制作している視聴覚教材の次回のテーマが「陶芸作家・下澤敏也の世界」に決まり、橋本会長を中心に制作作業が始まった。完成は来年3月の予定。

道内の陶芸界をリードする下澤さんのアトリエを中心に陶土を使った抽象彫刻の魅力と塑像制作の全工程を紹介するもので、すでに下澤さんの作品制作現場での撮影などが始まった。素材選びからデザイン、粘土原型づくり、焼成、加工、展示までの過程を追い、15分程度のDVDに仕上げる。

同センターの委託を受けて制作している視聴覚教材はこれで8作目となる。

## 「ハルカヤマ藝術要塞2011」展

## 小樽市春香山麓でオープン

## 友の会もバス旅行で鑑賞

小樽市春香山の麓に彫刻家で友の会会員でもある渡辺行夫さんが仲間と造成していた「芸術空間」の整備が終わり、念願のオープン展「ハルカヤマ藝術要塞2011」が9月24日のオープンニングパーティーを皮切りに10月22日までの会期で開かれている。

友の会も「春香山日帰りバス旅行」としてオープンニング行事に合わせて参加した。

この要塞は小樽市春香町の国道5号から数十メートル入ったところで、旧本郷新のアトリエに隣接している場所。閉館したホテルの跡地を渡辺さんが所有者から借り受け整備してきた。

石狩湾を一望する約3万平方メートルの敷地に道内の美術家56人が彫刻や陶芸、立体造形などを出品するユニークな展覧会となった。

## 友の会スタッフジャンパー

## 在庫あります

この夏、彫刻清掃作業などでお目見えした友の会のマーク入りスタッフジャンパーの在庫があり、希望者を募っている。価格は1着2000円。申し込みは久本会員まで。

## 事務局日誌

▼7月7日＝道庁赤れんが庁舎前庭の彫刻2体を清掃。スタッフジャンパー初登場▼10日＝中島公園のセメント像「母と子の像」洗浄と保全▼11日＝第3回役員会(会報37号編集企画、環境賞受賞式打ち合わせ、彫刻クイズラリー準状況など)▼13日＝札幌市環境局みどり推進部表敬訪問▼29日＝第3回さっぽろ環境賞特別賞受賞式(アクセスサッポロ)▼30日＝中島公園で彫刻クイズラリー実施▼8月4日＝来年実施予定の友の会彫刻企画展で道銀訪問。協力依頼▼6日＝大通公園で彫刻クイズラリー実施▼11日＝第4回役員会(エルプラザ)友の会主催企画展のアンケート中間報告。

## 編集後記

さっぽろ環境賞特別賞の受賞、そして多くの人たちからの祝福のメール。今号は嬉しい気分で編集ができた。「友の会ニュース」の桑園連合町内会からの彫刻解説依頼も最近、友の会の活動が社会に認知されていることを証明する嬉しいニュースだった。(大内)

## 札幌彫刻美術館友の会 会報「いずみ」No.37

2011年10月1日発行

発行人 橋本 信夫

編集者 大内 和

011-884-6025

印刷 山藤三陽印刷

## 会報「いずみ」37号 目次

自作自選 7 《北風の中で》	伊藤寿朗	表紙
作者の言葉		2
宮の森の四季 7 「本郷重子さんのこと」	大場裕子	2
巻頭言「居心地のいい彫刻のある公園へ」	笠 康三郎	3
さっぽろ環境賞特別賞を受賞		4
祝福のメール続々		5
友の会ニュース		6-7
道庁赤れんが庁舎前庭彫刻清掃、高圧洗浄機の寄贈、連合町内から解説の依頼、彫刻クイズラリー実施ほか		
事務局日誌、目次、美術館行事予定ほか		
		8

## 開館30周年記念

## 本郷新記念札幌彫刻美術館行事予定

### 本館

#### ■第15回本郷新賞受賞記念彫刻展

開催中～ 11月13日(日)まで

◇展示替えのため臨時休館 11月14日—18日

#### ■抽象・具象彫刻60人展—北の作家たち—

会期：11月19日(土)～2012年2月12日(日)

### 記念館

#### ■本郷新賞歴代受賞作家と本郷新展

会期：開催中～12月4日(日)

#### ■本郷新が最期に描いたキリスト像

会期：12月6日(火)～2012年4月8日 (日)

本郷新記念札幌彫刻美術館

札幌市中央区宮の森4条12丁目 ☎011-642-5709

友の会ホームページ公開中です！ご覧ください。

<http://sapporo-chokoku.jp>